

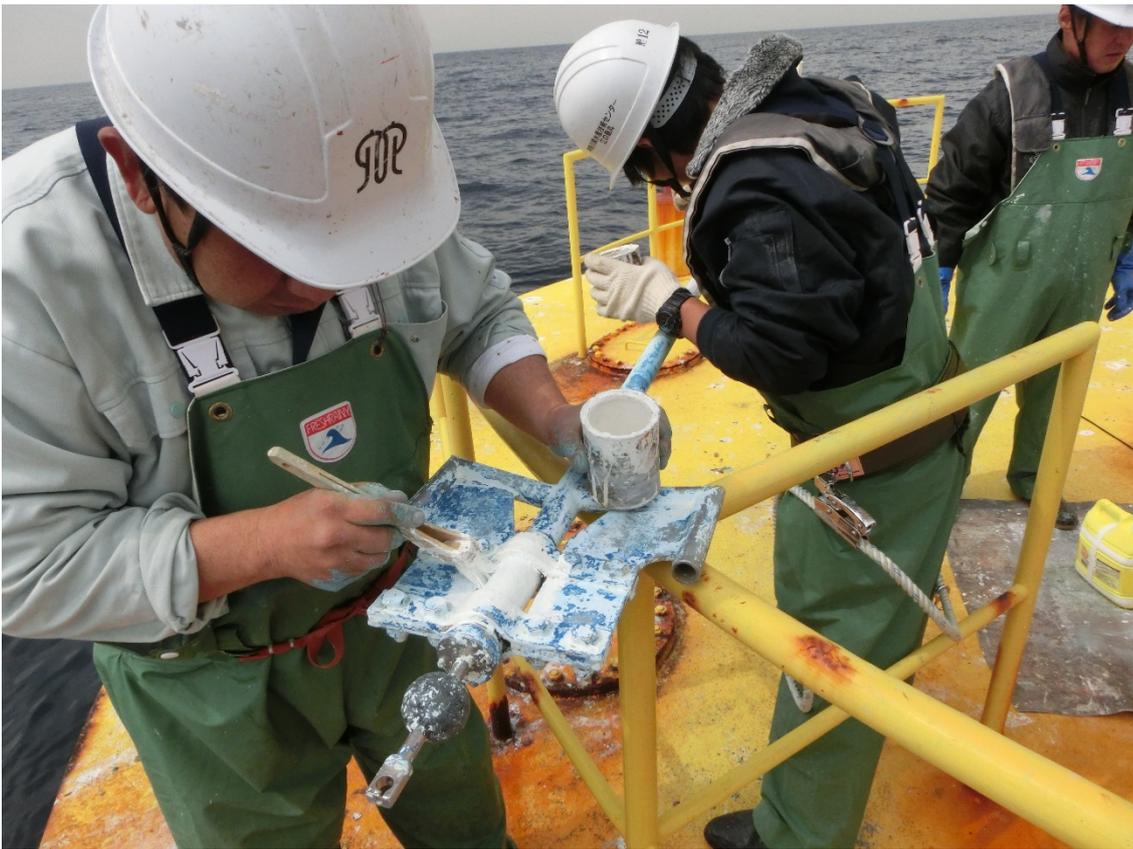
(その1) から引き続き 流向流速計センサーの付着物を綺麗に撤去。



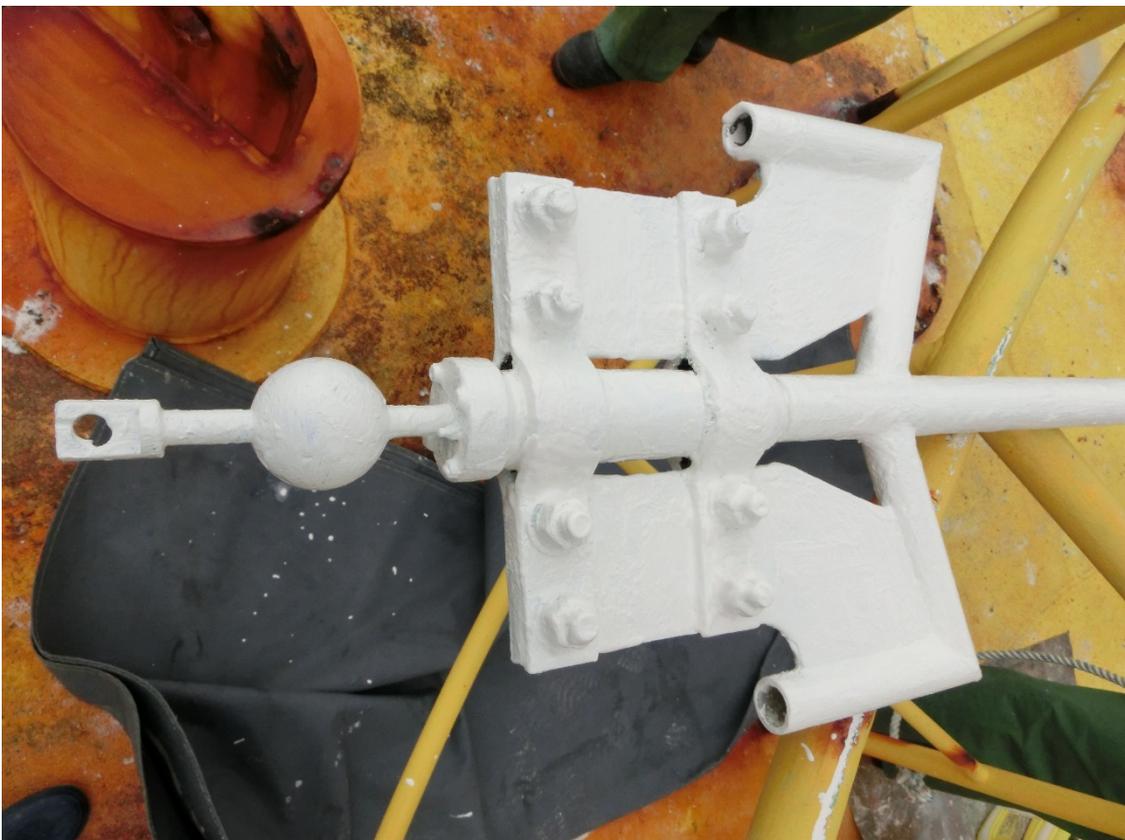
流向流速計センサー拡大写真。



海藻類付着防止の為に船舶用の船底塗料を塗装。（船底塗料には防汚効果があります）



流向流速計センサーも船底塗料を塗装。



## 南西沖浮標上部構物



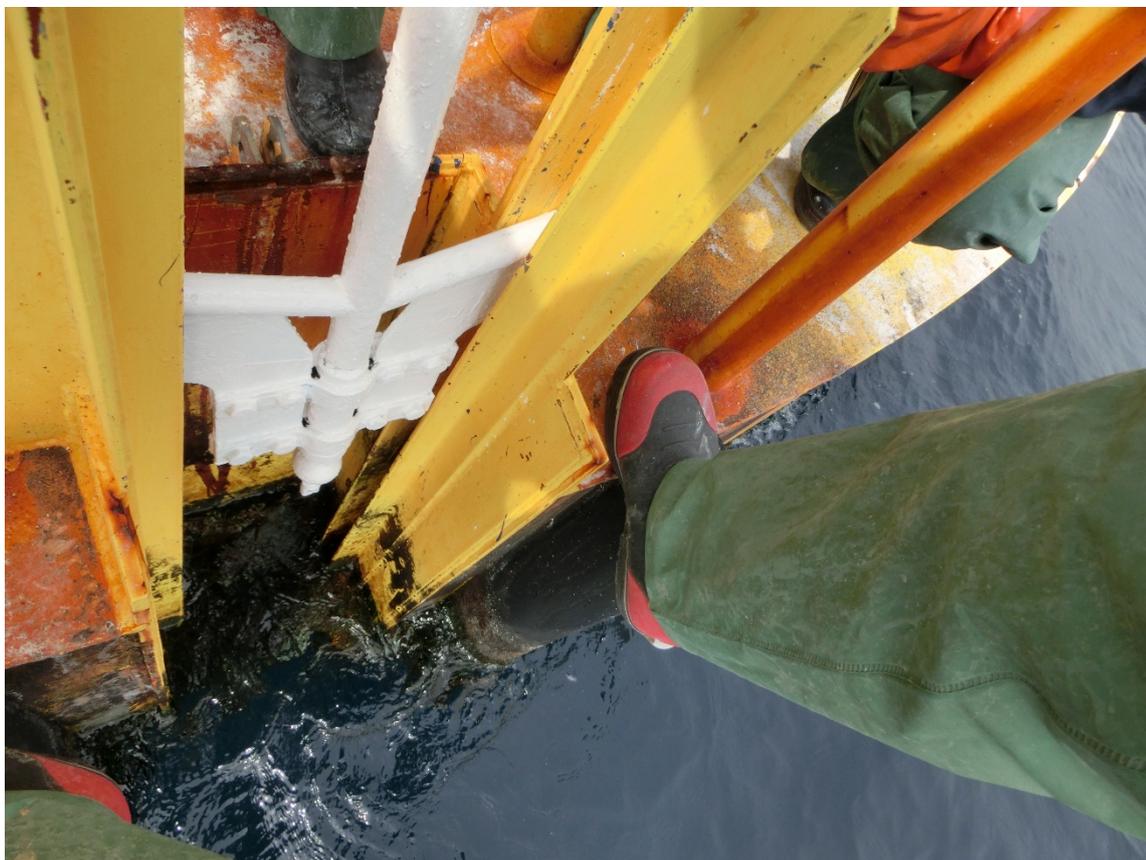
南西沖浮標の上部構物や配線などの固定の確認を行い不良個所が見つければインシロックやビニールテープなどで補修を行う。



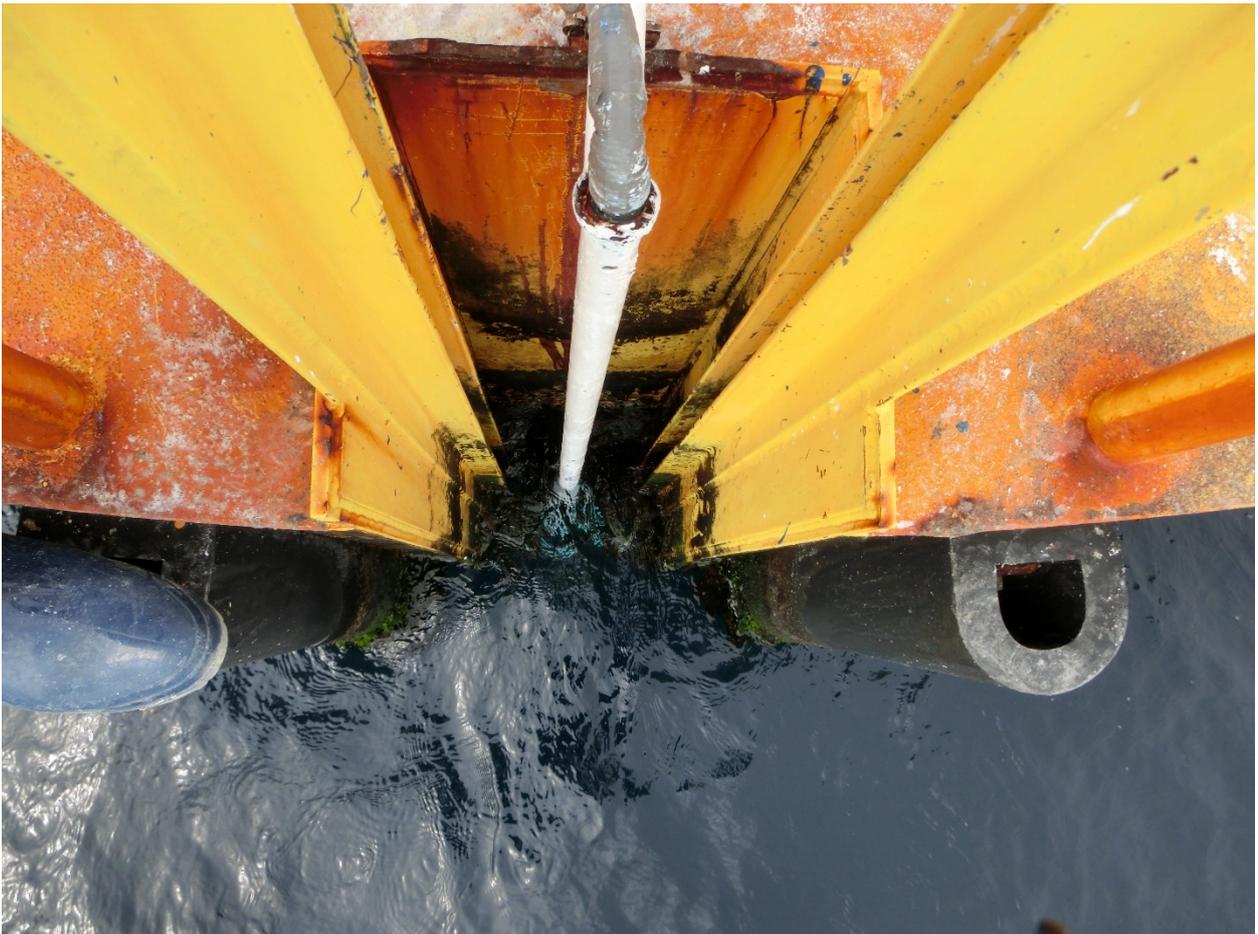
塗装が終わり乾燥してから流向流速計センサーを水中に戻す。



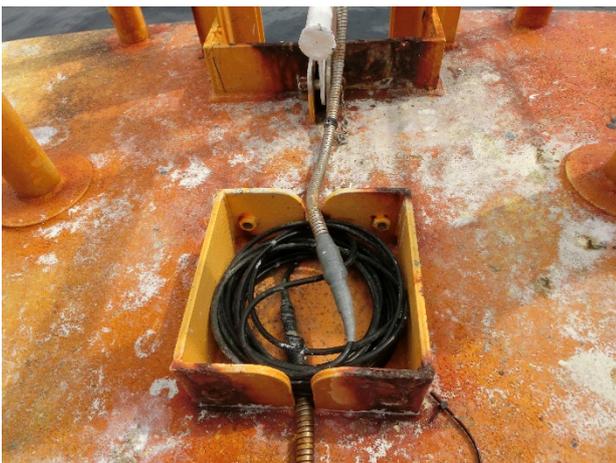
浮標に付いているレールの溝へとはめ込む。



所定の位置まで降ろして固定する。



配線も綺麗に収納して作業終了。



江の島丸へ作業終了の合図を送り乗船準備して待機。



素早く手渡しで道具を渡し乗船。緊張の一瞬。



作業乗組員の乗船後は南西沖浮標より素早く船を放します。



13:00 城ヶ島南西沖浮魚礁灯浮標メンテナンス終了。

この後、沖の山漁場に移動して翌日の 01:40 まで金目鯛幼魚調査を行い 05:20 三崎港日の出岸壁着 1泊2日の航海を終えました。